

平成 27 年 12 月 28 日
消 防 庁

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等に対する意見募集

消防庁は、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等の内容について、平成 27 年 12 月 29 日から平成 28 年 2 月 1 日までの間、意見を募集します。

1 主な改正内容

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）等は、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できない不具合が発生したこと等を受けて、当該消防用設備等の点検基準等を改正するものです。

2 意見募集対象及び意見募集要領

- 意見募集対象
 - ・ 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）〈告示〉
 - ・ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件（案）〈告示〉
 - ・ 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（案）〈告示〉
- 意見募集要領の詳細については、別紙を御覧ください。

3 意見募集の期限

平成 28 年 2 月 1 日（月）（必着）（郵送についても、募集期間内の必着とします。）

4 今後の予定

皆様からお寄せ頂いた御意見を検討した上で、これらの告示を公布する予定です。



（事務連絡先）
消防庁予防課 五月女補佐、境
TEL 03-5253-7523（直通）
FAX 03-5253-7533

意見募集要領

1 意見募集対象

- ・ 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）（新旧対照表）
- ・ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件（案）（新旧対照表）
- ・ 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件（案）（新旧対照表）

2 資料入手方法

準備が整い次第、電子政府の総合窓口（e-Gov）(<http://www.e-Gov.go.jp/>)の「パブリックコメント」欄及び総務省ホームページ(<http://www.soumu.go.jp/>)の「報道資料」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布することとします。

3 意見の提出方法

下記（１）の場合は、意見提出フォームに郵便番号、氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を記載の上、意見提出期限までに提出してください。

下記（２）～（４）のいずれかの場合は、意見書（別紙様式）に氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）、並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記の上、意見提出期限までに提出してください。

なお、御意見を正確に把握する必要があるため、電話等による御意見は御遠慮願います。また、提出意見は必ず日本語で記入してください。

（１）電子政府の総合窓口「e-Gov」を利用する場合

電子政府の総合窓口「e-Gov」(<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public>)の意見提出フォームからご提出ください。

なお、添付ファイルは利用できません。添付ファイルを送付する場合は、（２）により提出してください。

（２）電子メールを利用する場合

電子メールアドレス：yobo@soumu.go.jp

総務省消防庁予防課あて

※意見の提出を装ってウイルスメールが送付される事案を防ぐため、(1)の電子政府の総合窓口(e-Gov)を極力ご利用いただきますよう、ご協力の程よろしく願いいたします。

※メールに直接意見を書き込んでいただきますようお願いいたします。添付ファイルを送付する場合、ファイル形式は、テキストファイル、マイクロソフト社 Word ファイル、ジャストシステム社一太郎ファイルにより提出してください(他のファイル形式とする場合は、担当までお問合せください。)

※電子メールアドレスの受取可能最大容量は、メール本文等を含めて10MBとなっています。

(3) 郵送する場合

〒100-8927 東京都千代田区霞が関 2-1-2

総務省消防庁予防課あて

別途、意見の内容を保存した光ディスクを添えて提出いただくようお願いする場合があります。その場合の条件は次のとおりです。

○ディスクの種類：CD-R、CD-RW、DVD-R 又は DVD-RW

○ファイル形式：テキストファイル、マイクロソフト社 Word ファイル又はジャストシステム社一太郎ファイル(他のファイル形式とする場合には、事前に担当者までお問い合わせください。)

○ディスクには、提出者の氏名、提出日、ファイル名を記載してください。

なお、送付いただいたディスクについては、返却できませんのであらかじめ御了承ください。

(4) FAX を利用する場合

FAX 番号：03-5253-7533

総務省消防庁予防課あて

※連絡先窓口の担当に電話連絡後、送付してください。

なお、別途、電子データによる送付をお願いする場合があります。

4 意見提出期間

平成27年12月29日(火)から平成28年2月1日(月)まで(必着)

※郵送については、締切日の消印まで有効とします。

5 留意事項

- ・意見が1,000字を超える場合、その内容の要旨を添付してください。また、それぞれの意見には、当該意見の対象である命令等の案の名称、そのページ等を記載して下さい。
- ・提出された意見は、電子政府の総合窓口（e-Gov）及び総務省ホームページに掲載するほか、総務省消防庁予防課にて配布又は閲覧に供します。
- ・御記入いただいた氏名（法人又は団体にあつては、その名称並びに代表者及び連絡担当者の氏名）、住所（所在地）、電話番号、電子メールアドレスは、提出意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のために利用します。
- ・なお、提出された意見とともに、意見提出者名（法人又は団体にあつてはその名称及び代表者の氏名に限り、個人で意見提出された方の氏名は含みません。）を公表する場合があります。法人又は団体にあつては、その名称及び代表者の氏名について、匿名を希望される場合には、その旨を記入してください（連絡担当者の氏名は公表しません。）。
- ・意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめ御了承ください。
- ・意見提出期間の終了後に提出された意見、意見募集対象である命令等の案以外についての意見については、提出意見として取り扱わないことがありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・提出された意見は、結果の公示の際、必要に応じ整理・要約したものを公示することがあります。その場合には、提出された意見を連絡先窓口に備え付け、閲覧に供しますので、あらかじめ御了承ください。
- ・提出された意見を公示又は公にすることにより第三者の利益を害するおそれがあるとき、その他正当な理由があるときは、提出意見の全部又は一部を除いて公示又は公にすることがありますので、あらかじめ御了承ください。

6 連絡先窓口

総務省消防庁予防課

担 当：境 勝利

電 話：03-5253-7523

F A X：03-5253-7533

電子メールアドレス：yobo@soumu.go.jp

意見書

平成 年 月 日

総務省消防庁予防課 へ

郵便番号：〒

(ふりがな)

住所：

(ふりがな)

氏名(注1)：

電話番号：

電子メールアドレス：

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等に関し、以下のとおり意見を提出いたします。

(以下に意見を記載する。別紙に記載する場合は「別紙に記載」と記載し、意見を記載した別紙を添付する。)

注1 法人又は団体にあつては、その名称及び代表者の氏名を記載すること。

注2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。別紙にはページ番号を記載すること。

**消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する
点検票の様式の一部を改正する件（案）等について**

平成 27 年 12 月
消 防 庁 予 防 課

【改正理由】

平成 22 年 9 月に新潟県柏崎市で発生した火災において、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁が開放できないという事案が発生した。このことを踏まえ、一般財団法人日本消防設備安全センターにおいて「消防用設備等の経年劣化に対応した点検方法検討会」が開催され、平成 26 年 9 月に同センターから消防庁に対し、移動式粉末消火設備の加圧用ガス容器の容器弁に係る点検の必要性等について提言がなされた。当該提言を受けて検討を進め、今般、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」（昭和 50 年消防庁告示第 14 号）、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」（昭和 51 年消防庁告示第 9 号）及び「消防用設備等試験結果報告書の様式」（平成元年消防庁告示第 4 号）を改正するものである。

1. 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件について

【改正内容】

ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準において、点検の対象に加圧用ガス容器等のバルブ類を追加する。

また、ハロゲン化物消火設備の点検の基準において、点検の対象に圧力上昇防止措置を追加する。

点検の基準の改正に伴い、消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式を改正する。

【経過措置】

- ① ハロゲン化物消火設備の加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等及び粉末消火設備の加圧式粉末消火剤貯蔵容器等に係る点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、施行日から起算して 3 年を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。
- ② ハロゲン化物消火設備の圧力上昇防止措置に係る消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式については、施行日から起算して 6 か月を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。

【施行期日】平成 28 年 6 月 1 日

2. 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件について

【改正内容】

容器弁に求められる機能として、手動により容易に開放できること等を明文化する。

【経過措置】

規定の明文化であるため設けない。

【施行期日】 公布の日

3. 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件について

【改正内容】

消防用設備等試験結果報告書の様式に、ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に設ける容器弁のバルブ類の開放試験に係る項目を追加するとともに、所要の規定の整備を行う。

【経過措置】

ハロゲン化物消火設備及び粉末消火設備に係る消防用設備等試験結果報告書の様式については、施行日から起算して3年を経過するまでの間は、なお従前の例によることができることとする。

【施行期日】 平成 28 年 6 月 1 日

昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を改正する件（案） 新旧対照表

○ 昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）

（傍線部分は改正部分）

改正案	現行
<p>別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等</p> <p>ア～エ (略)</p> <p>オ バルブ類</p> <p>変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</p> <p>カ 加圧用ガス容器等</p> <p>ク～ケ (略)</p> <p>カ) <u>バルブ類</u></p> <p><u>変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</u></p> <p>キ) (略)</p>	<p>別表第7 ハロゲン化物消火設備の点検の基準</p> <p>1 機器点検</p> <p>次の事項について確認すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等</p> <p>ア～エ (略)</p> <p>オ バルブ類</p> <p>変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。</p> <p>カ 加圧用ガス容器等</p> <p>ク～ケ (略)</p> <p>(新設)</p> <p>カ) (略)</p>

キ (略)

(3)～(11) (略)

(12) 圧力上昇防止措置

適正に設けられ、機能が正常であること。

(13)～(19) (略)

2 (略)

別表第8 粉末消火設備の点検の基準

1 機器点検

次の事項について確認すること。

(1) (略)

(2) 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等

ア～エ (略)

オ バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

カ 加圧用ガス容器等

(7)～(9) (略)

(10) バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操

作が容易にできること。

(11) (略)

キ (略)

(3)～(11) (略)

(新設)

(12)～(19) (略)

2 (略)

別表第8 粉末消火設備の点検の基準

1 機器点検

次の事項について確認すること。

(1) (略)

(2) 加圧式粉末消火剤貯蔵容器等

ア～エ (略)

オ バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

カ 加圧用ガス容器等

(7)～(9) (略)

(新設)

(10) (略)

キ・ク (略)

(3)～(17) (略)

2 (略)

キ・ク (略)

(3)～(17) (略)

2 (略)

別記様式第7

(その1)

ハログゲン化物 (ハロン2402、1211、1301、HF23、HF227ea、FK-5-1-12) (区画名:)
消火設備点検票

点検年月日 年 月 日 ~ 年 月 日
資格 番号 点検者 社名
氏名 所属会社 住所

点検項目 table with columns: 点検項目, 種類・容量等の内容判定, 結果, 不良内容, 措置内容

- 備考 1 この用紙の大きさには、日本工業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。不良の場合は○印、不良の場合に×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
3 種別欄は、正確の場合は○印、不良の場合は×印を記入すること。
4 種別欄のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の結果措置した内容を記入すること。
6 ※印のあるものは、(その5)に各器ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第7

(その1)

ハログゲン化物 (ハロン2402、1211、1301、HF23、HF227ea、FK-5-1-12) (区画名:)
消火設備点検票

点検年月日 年 月 日 ~ 年 月 日
資格 番号 点検者 社名
氏名 所属会社 住所

点検項目 table with columns: 点検項目, 種類・容量等の内容判定, 結果, 不良内容, 措置内容

- 備考 1 この用紙の大きさには、日本工業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。不良の場合は○印、不良の場合に×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
3 種別欄は、正確の場合は○印、不良の場合は×印を記入すること。
4 種別欄のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の結果措置した内容を記入すること。
6 ※印のあるものは、(その5)に各器ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管・管継手				
配管等	支持金具・つり金具			
配管の安全装置等	安全装置			
	破壊板			
消火剤等	排出措置			
圧力上昇防止措置				
放出表示灯				
噴射ヘッド	外形			
	放射障害			
防護区画	変更等			
	開口部の自動閉鎖装置	電気で作動するもの		
非常電源	端子電圧	V		
	充電装置			
充電線	接続			
	周囲の状況			
規格	納箱			
	ホースリール	m		
ホースリール等	ホースリール			
	ズル開閉弁			
表示灯・標識 (移動式)				
耐震措置				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択技のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管・管継手				
配管等	支持金具・つり金具			
配管の安全装置等	安全装置			
	破壊板			
消火剤等	排出措置			
放出表示灯				
噴射ヘッド	外形			
	放射障害			
防護区画	変更等			
	開口部の自動閉鎖装置	電気で作動するもの		
非常電源	端子電圧	V		
	充電装置			
充電線	接続			
	周囲の状況			
規格	納箱			
	ホースリール	m		
ホースリール等	ホースリール			
	ズル開閉弁			
表示灯・標識 (移動式)				
耐震措置				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択技のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準の一部を改正する件（案） 新旧対照表
 ○ 不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準（昭和五十一年消防庁告示第九号）
 （傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>第三 容器弁</p> <p>一 構造、材質及び機能</p> <p>容器弁の構造、材質及び機能は、次に定めるところによる。</p> <p>(一)・(二) (略)</p> <p>(三) 常時閉止状態にあつて、電気式、ガス圧式等の開放装置により開放できるもの又は手動により容易に開放できるものがあること。</p> <p>(四) 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつ、輸送等の振動に耐えるものであること。</p> <p>(五) ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであること。</p> <p>二〇七 (略)</p>	<p>第三 容器弁</p> <p>一 構造、材質及び機能</p> <p>容器弁の構造、材質及び機能は、次に定めるところによる。</p> <p>(一)・(二) (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(三) 時間の経過による変質により機能に影響を及ぼさず、かつ、輸送等の振動に耐えるものであること。</p> <p>(四) ほこり又は湿気により機能に異常を生じないものであること。</p> <p>二〇七 (略)</p>

○ 平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を改正する件（案） 新旧対照表

（傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/>

別記様式第7

①

ハロゲン化物消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日
試験実施者				住所			
氏名				印			
設置階	防護対象物の種別	設計放出時間	sec				
設置場所	固定式 全域放出方式 局所放出方式	設計放出時間	sec				
放出方式	移動式	設計放出時間	sec				
試験項目							
試験項目	種別・容量等の内容	結果					
貯蔵容器等	設置場所	kg					
表示・標識							
貯蔵容器							
蓄圧値(蓄圧式に限る)		MPa					
充てん比							
容器弁開放装置							
安全装置・破損板							
設置場所等							
加圧容器							
安全装置・容器弁							
種類別							
加圧用ガス		kg					
加圧月ガスを容器	設置場所等						
起動月ガスを容器	構造等						
	弁						

別記様式第7

①

ハロゲン化物消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日
試験実施者				住所			
氏名				印			
設置階	防護対象物の種別	設計放出時間	sec				
設置場所	固定式 全域放出方式 局所放出方式	設計放出時間	sec				
放出方式	移動式	設計放出時間	sec				
試験項目							
試験項目	種別・容量等の内容	結果					
貯蔵容器等	設置場所	kg					
表示・標識							
貯蔵容器							
蓄圧値(蓄圧式に限る)		MPa					
充てん比							
容器弁開放装置							
安全装置・破損板							
設置場所等							
加圧容器							
安全装置・容器弁							
種類別							
加圧用ガス		kg					
加圧月ガスを容器	設置場所等						
起動月ガスを容器	構造等						
	弁						

ハロゲン化物消火設備

②

試験項目	設置場所	種別・容量等の内容	結果
選択弁	設置場所等	設置場所	
	機器	表示 導管接続部 構造	
手動起動装置	設置場所等	設置場所	
		設置位置	
		設置高さ	床面からの高さ m
		設備表示	
		取扱表示	
		塗色	
		防護措置	
		表示灯	
		スイッチ	
		設置場所等	
自動起動装置	設置場所等	手動・自動切替装置	
		構造等	
警報装置	機器	感知器	
		警報方式	
制御装置	機器等	音声再生装置の設置場所	
		構造・性能	
配管・バルブ類	設置状況	制御盤	
		表示灯・スイッチ類	
		防護措置	
		遅延装置	
		自動・手動起動切替装置	
		配管系	
		逆止弁	
		構造材料	
		口径	
		全装置	

ハロゲン化物消火設備

②

試験項目	設置場所	種別・容量等の内容	結果
選択弁	設置場所等	設置場所	
	機器	表示 導管接続部 構造	
手動起動装置	設置場所等	設置場所	
		設置位置	
		設置高さ	床面からの高さ m
		設備表示	
		取扱表示	
		塗色	
		防護措置	
		表示灯	
		スイッチ	
		設置場所等	
自動起動装置	設置場所等	手動・自動切替装置	
		構造等	
警報装置	機器	感知器	
		警報方式	
制御装置	機器等	音声再生装置の設置場所	
		構造・性能	
配管・バルブ類	設置状況	制御盤	
		表示灯・スイッチ類	
		防護措置	
		遅延装置	
		自動・手動起動切替装置	
		配管系	
		逆止弁	
		構造材料	
		口径	
		全装置	

ハロゲン化物消火設備

③

試験項目	種別・容量等の内容	結果	
			試験項目
ハロゲン化物消火設備	設置位置	_____	
	構造・性能	_____	
	噴射ヘッド構造	_____	
	防振区画	_____	
	開口部の自動閉鎖措置等	_____	
	消火剤を付加する開口部面積	_____	
	消火剤流出防止措置	_____	
	開口部の位置	_____	
	消火剤排出措置	_____	
	圧力上昇防止措置	_____	
温度低下防止措置	_____		
電源	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備	
ノズル・ホース等	構造・性能	_____	
	表示灯・標識	_____	
機能試験	防振措置	_____	
	防護区画	_____	
	圧力調整装置試験	_____	
	容器弁開放装置の作動試験	_____	
	※容器弁のバルブ類の開放試験	_____	
	選択弁作動試験	_____	
	遅延時間	_____	
	非常停止機構作動状況	_____	
	音響警報先行作動状況	_____	
	制御装置試験	_____	
作動試験	自動・手動切替作動状況	_____	
	※異常信号地絡試験	_____	
警報装置試験	起動装置による作動状況	_____	
	警報鳴動状況	_____	
	音	_____	
	音響警報装置作動状況	_____	
自動警報作動状況	_____		

ハロゲン化物消火設備

③

試験項目	種別・容量等の内容	結果	
			試験項目
ハロゲン化物消火設備	設置位置	_____	
	構造・性能	_____	
	噴射ヘッド構造	_____	
	防振区画	_____	
	開口部の自動閉鎖措置等	_____	
	消火剤を付加する開口部面積	_____	
	消火剤流出防止措置	_____	
	開口部の位置	_____	
	消火剤排出措置	_____	
	圧力上昇防止措置	_____	
温度低下防止措置	_____		
電源	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備	
ノズル・ホース等	構造・性能	_____	
	表示灯・標識	_____	
機能試験	防振措置	_____	
	防護区画	_____	
	圧力調整装置試験	_____	
	容器弁開放装置の作動試験	_____	
	※容器弁のバルブ類の開放試験	_____	
	選択弁作動試験	_____	
	遅延時間	_____	
	非常停止機構作動状況	_____	
	音響警報先行作動状況	_____	
	制御装置試験	_____	
作動試験	自動・手動切替作動状況	_____	
	異常信号地絡試験	_____	
警報装置試験	起動装置による作動状況	_____	
	警報鳴動状況	_____	
	音	_____	
	音響警報装置作動状況	_____	
自動警報作動状況	_____		

ハロゲン化物消火設備

④

試験項目	種別・容量等の内容	結果				
			試験項目	種別・容量等の内容	結果	
機能試験 作動試験	附属装置 連動試験	作動状況				
	消火剤 放出試験	復旧操作状況				
総合試験 総合作動 試験	全域放出 方式又は 局所放出 方式	表示灯試験				
		運転弁作動状況・放出経路				
		通気状況				
		気密状況				
		区画別貯蔵容器開放数				
		音響警報装置作動状況				
		放出表示灯点灯状況				
		附属装置作動状況				
		移動式	移動式作動状況			
		備考				

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 空印の試験は、「不活性ガス消火設備等の取組の基準」(平成13年消防庁告示第38号)又は「不活性ガス消火設備等の容器等・安全装置及び破壊板の基準」(昭和61年消防庁告示第9号)に適合している旨の表示がけされているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

ハロゲン化物消火設備

④

試験項目	種別・容量等の内容	結果				
			試験項目	種別・容量等の内容	結果	
機能試験 作動試験	附属装置 連動試験	作動状況				
	消火剤 放出試験	復旧操作状況				
総合試験 総合作動 試験	全域放出 方式又は 局所放出 方式	表示灯試験				
		運転弁作動状況・放出経路				
		通気状況				
		気密状況				
		区画別貯蔵容器開放数				
		音響警報装置作動状況				
		放出表示灯点灯状況				
		附属装置作動状況				
		移動式	移動式作動状況			
		備考				

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 結果の欄には、良否を記入すること。

4 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第 8

①

粉末消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日	
試験実施者				住所	氏名			
住所				氏名				
氏名				印				
設置階	防護対象物の種別	設計放出時間	sec	固定式 全域放出方式 局所放出方式				
設置場所	設計放出時間	sec	移動式					
試験項目								
設置場所	表示・標識	種類	容量等の内容	kg	結果			
貯蔵容器等	貯蔵容器	種類	容量等の内容	kg	結果			
		容量	容量等の内容	kg	結果			
	蓄圧式	容器弁開放装置	種類	容量等の内容	kg	結果		
		容器弁	種類	容量等の内容	kg	結果		
	加圧式	貯蔵タンク	種類	容量等の内容	kg	結果		
		定圧作動装置	種類	容量等の内容	kg	結果		
充てん装置	種類	容量等の内容	kg	結果				
安全装置	種類	容量等の内容	kg	結果				
設置場所等								
加圧機		種類	容量等の内容	kg	結果			
容器弁開放装置		種類	容量等の内容	kg	結果			
加圧機		種類	容量等の内容	kg	結果			
容器弁開放装置		種類	容量等の内容	kg	結果			

別記様式第 8

①

粉末消火設備試験結果報告書				試験実施日	年	月	日	
試験実施者				住所	氏名			
住所				氏名				
氏名				印				
設置階	防護対象物の種別	設計放出時間	sec	固定式 全域放出方式 局所放出方式				
設置場所	設計放出時間	sec	移動式					
試験項目								
設置場所	表示・標識	種類	容量等の内容	kg	結果			
貯蔵容器等	貯蔵容器	種類	容量等の内容	kg	結果			
		容量	容量等の内容	kg	結果			
	蓄圧式	容器弁開放装置	種類	容量等の内容	kg	結果		
		容器弁	種類	容量等の内容	kg	結果		
	加圧式	貯蔵タンク	種類	容量等の内容	kg	結果		
		定圧作動装置	種類	容量等の内容	kg	結果		
充てん装置	種類	容量等の内容	kg	結果				
安全装置	種類	容量等の内容	kg	結果				
設置場所等								
加圧機		種類	容量等の内容	kg	結果			
容器弁開放装置		種類	容量等の内容	kg	結果			
加圧機		種類	容量等の内容	kg	結果			
容器弁開放装置		種類	容量等の内容	kg	結果			

粉末消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果
起動用器	設置場所等	_____	
	構造等	_____	
選択弁	設置場所等	_____	
	表示	_____	
手動起動装置	設置場所等	設置位置	_____
		設置高さ	床面からの高さ _____ m
	設備表示	取扱表示	_____
		塗色等	_____
	機器	防護措置	_____
		表示六灯	_____
	設置場所等	スイッチ	_____
		構造等	_____
	自動起動装置	構造等	_____
		感知器	_____
警報装置	警報の方式	_____	
		音声再生装置の設置場所	_____
制御装置	設置場所等	_____	

配管・バルブ類	配管系統等	_____	

	機器等	表示灯・スイッチ類	_____
		防護措置	_____
自動・手動切替装置	_____		

粉末消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果
起動用器	設置場所等	_____	
	構造等	_____	
選択弁	設置場所等	_____	
	表示	_____	
手動起動装置	設置場所等	設置位置	_____
		設置高さ	床面からの高さ _____ m
	設備表示	取扱表示	_____
		塗色等	_____
	機器	防護措置	_____
		表示六灯	_____
	設置場所等	スイッチ	_____
		構造等	_____
	自動起動装置	構造等	_____
		感知器	_____
警報装置	警報の方式	_____	
		音声再生装置の設置場所	_____
制御装置	設置場所等	_____	

配管・バルブ類	配管系統等	_____	

	機器等	表示灯・スイッチ類	_____
		防護措置	_____
自動・手動切替装置	_____		

粉末消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
試験項目	操作管・逆止弁	—		
	構造・使用数等	—		
	口径・使用数等	—		
	安全装置	—		
	設置場所等	—		
	構造・性能	—		
	噴射ヘッド	—		
	防護区画	—		
	開口部の自動閉鎖装置等	—		
	消火剤を付加する開口部面積	—		
試験項目	消火剤流出防止措置	—		
	常用電源	V		
試験項目	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		
	設置位置	—		
試験項目	構造・性能	—		
	構造・性能	—		
試験項目	表示灯・標識	—		
	耐震措置	—		
機能試験	防護区画			
	容器弁開放装置の作動試験			
	※容器弁のバルブ類の開放試験			
	運転動作試験			
	制御装置試験	遅延時間		
		非常停止機構作動状況		
	音響警報先行作動状況	音響警報鳴動状況		
		自動・手動切替作動状況		
	起動装置による作動状況	警報鳴動状況		
		音響警報装置作動状況		
警報装置試験	音響警報装置作動状況			
	自動警報作動状況			
付属装置	作動状況			
付属装置	復旧操作状況			

粉末消火設備

②

試験項目		種別・容量等の内容	結果	
試験項目	操作管・逆止弁	—		
	構造・使用数等	—		
	口径・使用数等	—		
	安全装置	—		
	設置場所等	—		
	構造・性能	—		
	噴射ヘッド	—		
	防護区画	—		
	開口部の自動閉鎖装置等	—		
	消火剤を付加する開口部面積	—		
試験項目	消火剤流出防止措置	—		
	常用電源	V		
試験項目	非常電源の種類	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備		
	設置位置	—		
試験項目	構造・性能	—		
	構造・性能	—		
試験項目	表示灯・標識	—		
	耐震措置	—		
機能試験	防護区画			
	容器弁開放装置の作動試験			
	※容器弁のバルブ類の開放試験			
	運転動作試験			
	制御装置試験	遅延時間		
		非常停止機構作動状況		
	音響警報先行作動状況	音響警報鳴動状況		
		自動・手動切替作動状況		
	起動装置による作動状況	警報鳴動状況		
		音響警報装置作動状況		
警報装置試験	音響警報装置作動状況			
	自動警報作動状況			
付属装置	作動状況			
付属装置	復旧操作状況			

粉末消火設備

④

機能試験	試験項目		種別・容量等の内容	結果
	定圧作動装置試験	作動圧力(MPa) 作動時間(sec)		
作動試験	放出試験			
	圧力調整装置試験			
総合試験	全域放出方式又は出方式	運転作動状況・放出系統		
		通気状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	気密状況		
		音響警報装置作動状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	放出表示灯点灯状況		
		附属装置作動状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	移動式		
		移動式作動状況		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「不活性ガス消火設備等の容器等・安全装置及び破壊試験の基準」(昭和51年消防庁告示第9号)に適合している旨の表示が付けられているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

粉末消火設備

④

機能試験	試験項目		種別・容量等の内容	結果
	定圧作動装置試験	作動圧力(MPa) 作動時間(sec)		
作動試験	放出試験			
	圧力調整装置試験			
総合試験	全域放出方式又は出方式	運転作動状況・放出系統		
		通気状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	気密状況		
		音響警報装置作動状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	放出表示灯点灯状況		
		附属装置作動状況		
総合試験	全域放出方式又は出方式	移動式		
		移動式作動状況		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 結果の欄には、良否を記入すること。
- 4 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。